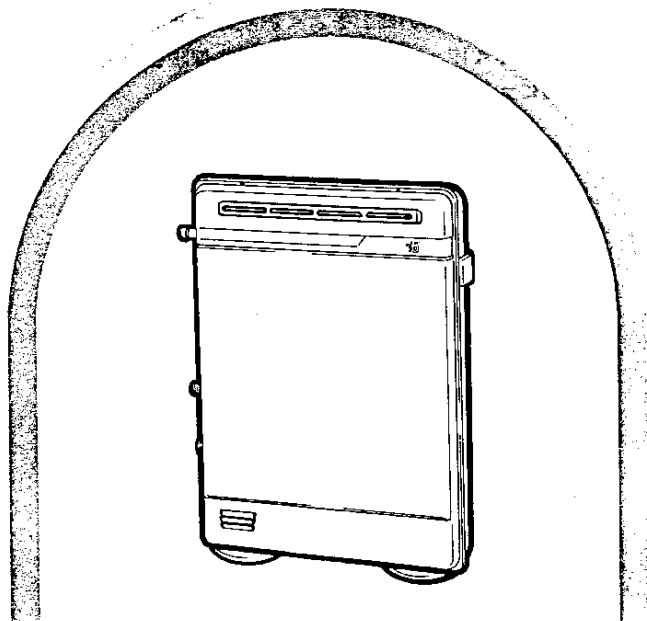




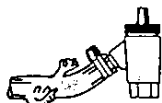
ガス風呂釜 〈電子コントロール方式〉
〈セントラル給湯機能付き〉

取扱説明書 31-057型

保証書付



ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



空だきには十分
注意しましょう。



使用中は、熱
くなります。
手をふれない
でください。



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂釜〈セントラル給湯機能付き〉を、お求めいただきまして、ありがとうございます。

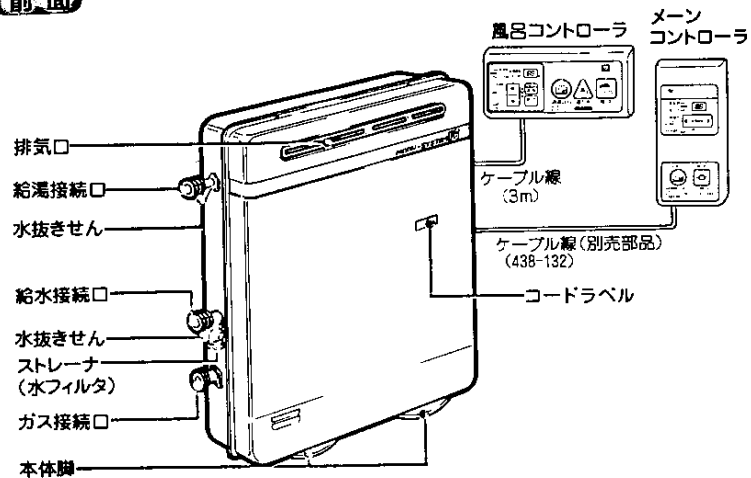
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ器具を正しく使っていただき、別添の保証書とともに大切に保存してください。

もくじ

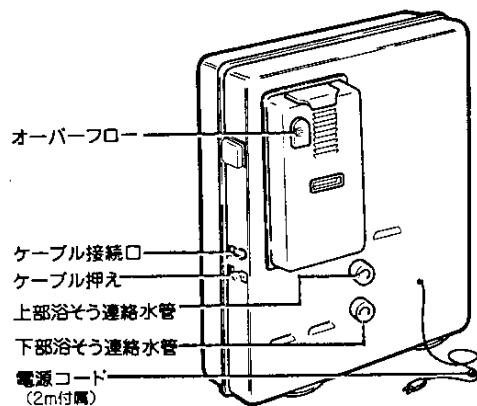
●各部の名称	1
●操作部の名称とはたらき	2
●特に注意していただきたいこと	4
●使用手順	9
●凍結による器具の破損を防ぐために	18
●日常の点検とお手入れ	20
●故障・異常の見分け方と処置方法	22
●保管(長期間使用しない場合)	24
●アフターサービスのお申し込み	24
●仕様	25
●外形寸法図	26

各部の名称

前面



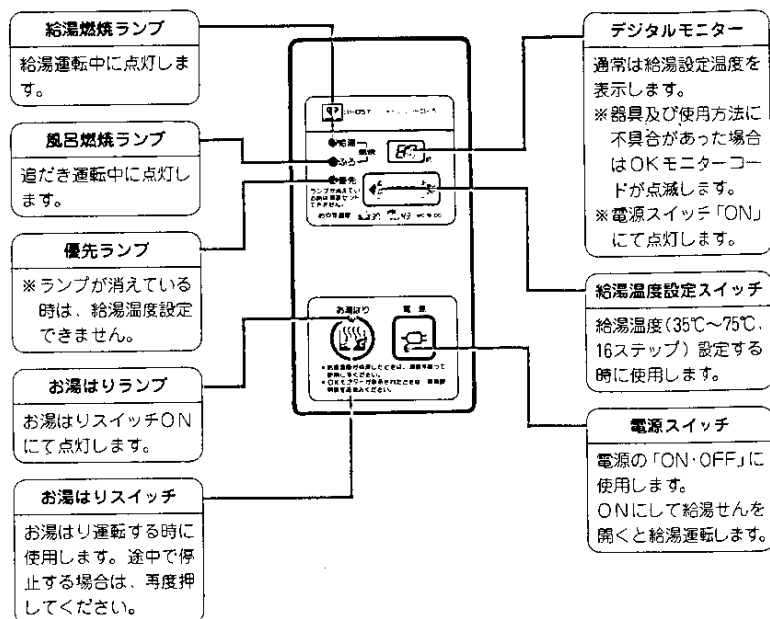
後面



操作部の名称とはたらき

■メインコントローラ

(お湯はりが終わるとメロディでお知らせします。)

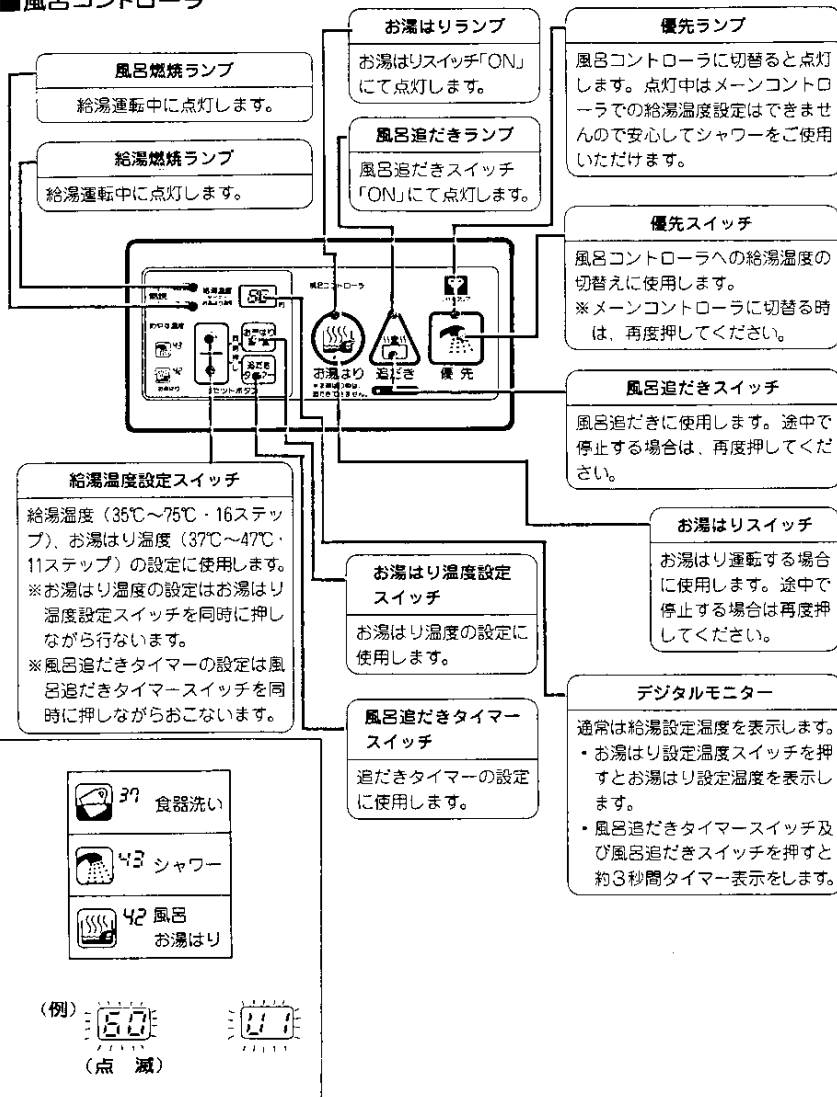


給湯温度設定のめやす

(例)

- デジタルモニターの給湯設定温度の表示が点滅した場合は、湯量を絞って使用してください。
- デジタルモニターのOKモニターコードが点滅した場合は給湯せんを閉めて、「故障・異常の見分け方と処置方法」をお読みください。
- デジタルモニターの表示は、器具の設定温度であり、給湯せんから出る湯の温度とは、配管長さや季節によって異なりますので目安としてください。
- デジタルモニターは電源ランプを兼用しており、電源が入っている時は、通常は給湯の設定温度を表示します。

■風呂コントローラ



特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。

- ・本体側板に貼ってある銘板に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているがまず確かめてください。
- ※ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- ・転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

銘板

型式

ガスの種類およびグループ
ガス消費量
製造年月および製造番号
製造業者名

- 都市ガス用 6C
- 都市ガス用 13A
- 都市ガス用 6A
- LPガス用

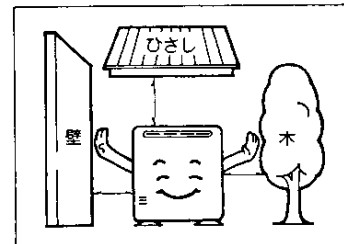
使用電源について

●電源の電圧と周波数をたしかめてください。

- ・この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかたしかめてください。

器具の設置

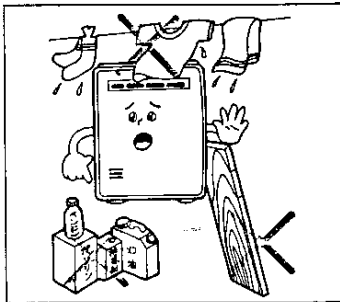
- ・詳しくは工事説明書をお読みください。
- ・安全な位置に正しく設置されているか確認してください。



特に注意していただきたいこと②

火災予防

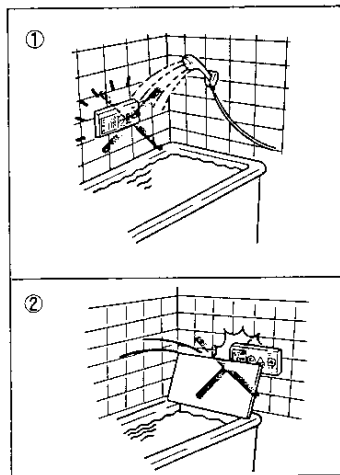
- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
- 特に、排気口は洗たく物などでおおわないでください。
- 火をつけたままで就寝・外出は絶対にしないでください。
- 前板を取りはずしたまま絶対にご使用しないでください。



使用場所

- この器具は屋外用ですので屋内では使用しないでください。
- 壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。

- 風呂コントローラを、①シャワーの水・湯がいつもかかりそうなところ、②風呂のフタがあたるところには設置しないでください。



- メーンコントローラは、ガスコンロや、ガスレンジの上には取り付けしないでください。

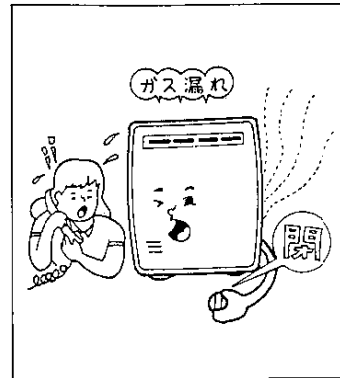
特に注意していただきたいこと③

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいた時は、すぐ使用をやめてガス元せんを閉め、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

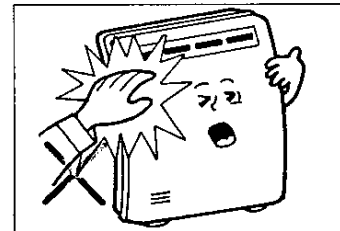
注) 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなどをしないでください。火や、火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。

- 長時間使用しないときは、ガス元せんを必ず閉めてください。



使用上の注意

1. 給湯及び追だき以外の用途には使用しないでください。
2. 飲用にお使いのときのご注意
 - 器具や配管内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。
3. 市販の補助具使用についてのご注意
 - この器具の補助用具以外は使用しないでください。（不完全燃焼の原因となります。）
 - 混合水せんをご使用になる場合は出口が絞られていないもの（瞬間湯沸器用混合水せん）を選定してください。水圧の低い地域では泡沫水せんを使用しないでください。
4. 火傷（やけど）にご注意ください。
 - 使用中および消火直後は、前板や排気口が高温になっていますので絶対に手を触れないでください。



特に注意していただきたいこと④

5. 雷時にはご注意ください。

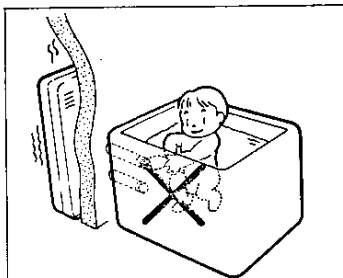
- 雷による一時的な過電流で電気部品を損傷することがありますので安全のため、雷が発生したときは使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、(分電盤の専用スイッチをOFFにして) ください。

6. 入浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので健浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

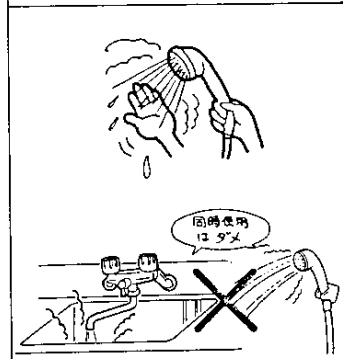
7. 過熱防止について

- ふろ追だきする場合、湯当りの上端より10cm以上浴そうに水が入っていることを確かめてから点火してください。又、点火後は時々水がもれてないか確認してください。
- 浴そうの循環口はタオルなどでふさがないようにしてください。



8. シャワーの使用について

- シャワーをお使いになるときや、シャワーをお使いになってお湯を止められた直後に再度お使いになるときは、いきなり体や頭にかげずに、手で湯温を確認してからお使いください。
- シャワーをお使いのとき、ほかの給湯せんと同時使用しますと湯量・湯温が変化しますのでやめてください。
- 器具を使用中(特にシャワー使用中)、水洗トイレをご使用になりますと、湯温が急に変わる場合があります。



凍結についてのご注意

- 冬期器具内の水が凍る恐れのあるときは、凍結による器具の破損を予防するため、凍結予防の処置を必ず行ってください。電源プラグを抜かないで(分電盤の専用スイッチを「OFF」にしないで) ください。

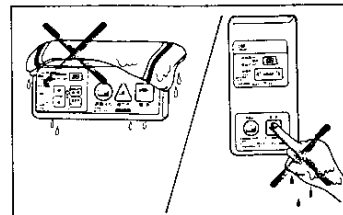
特に注意していただきたいこと⑤

異常時の処置について

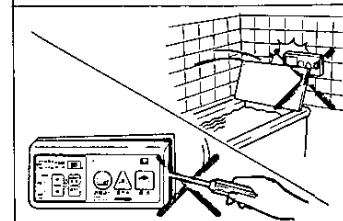
- 万一異常燃焼を起こしたときや、緊急の場合、あわてず電源スイッチを切り、電源プラグを抜くとともに、ガス元せんを閉じて消火してからお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

コントローラについてのご注意

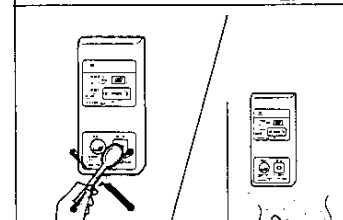
- (1)濡れタオルなどを絶対にコントローラにかけないでください。又、メインコントローラは濡れた手で操作しないでください。



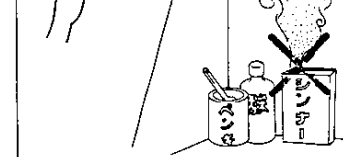
- (2)風呂コントローラは防湿構造になっていますので、風呂コントローラのふたをはずしたり、浴そうのふたなどをあてたりしないでください。



- (3)つまみ、押しボタン類は必ず手でかく操作し、強い力をかけないでください。



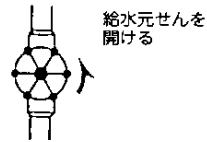
- (4)メインコントローラのそばに薬品(シンナー・塗料・油・アンモニア・酸類など)を置かないようにしてください。



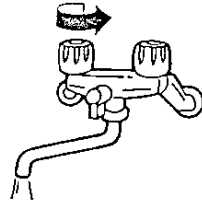
使用手順

ご使用前の準備

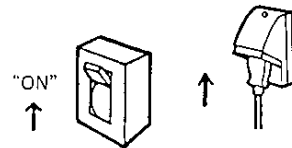
1. 給水元せんを全開にしてください。



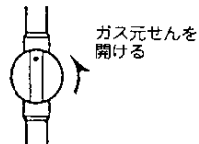
2. 給湯せんを開けて、水の出ることを確認してから開めてください。(全ての給湯せんについて)



3. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。(分電盤の専用スイッチを「ON」にしてください。)



4. ガス元せんを全開にしてください。



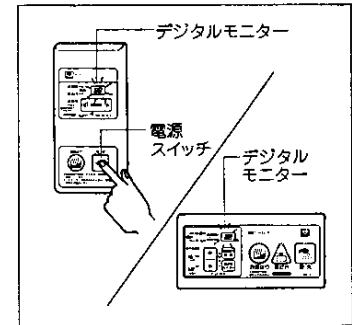
使用手順②

給湯の使い方

1. 点火

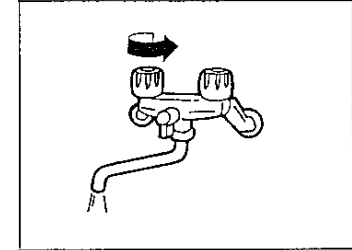
1) メーンコントローラの電源スイッチを押します。

- ・メーンコントローラ・風呂コントローラのデジタルモニターが点灯します。



2) 給湯せんを開けます。

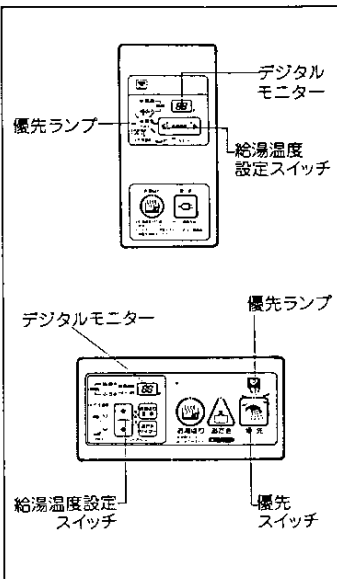
- ・メーンバーナに点火し、お湯がでます。
- ・点火と同時にメーンコントローラ・風呂コントローラの給湯燃焼ランプが点灯します。



使用手順③

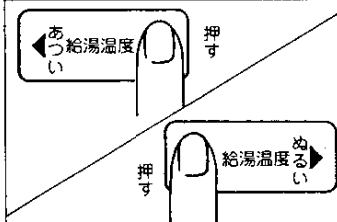
2. 湯温調節

- 1) 給湯温度設定スイッチを押します。
 - デジタルモニターの表示を希望する湯温にあわせてください。
 - 電源を入れると常にメインコントローラの優先ランプが点灯します。風呂コントローラで湯温調節する場合は、風呂コントローラの優先スイッチを押してください。(メインコントローラに切替える場合は、再度優先スイッチを押してください。)
 - デジタルモニターに給湯設定温度が35℃～75℃(35・37・38・39・40・41・42・43・44・45・46・48・50・55・60・75の16ステップ)の範囲で表示されます。
 - デジタルモニターの表示は器具の設定温度であり、給湯せんから出る湯の温度とは配管長さや季節によって異なりますので目安としてください。



メインコントローラの場合

- ①あつくするときは「あつい」を押します。
- ②ぬるくするときは「ぬるい」を押します。



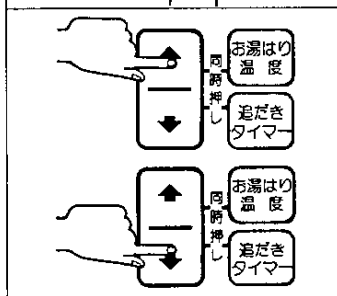
風呂コントローラの場合

(優先ランプが消えているときは、湯温調節できません。)

- ①あつくするときは「↑」を押します。
- ②ぬるくするときは「↓」を押します。

〈ご注意〉

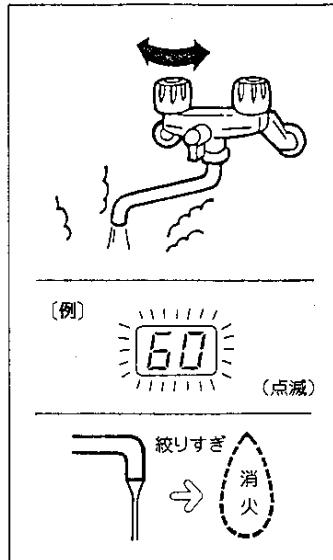
給湯設定温度を60℃以上に設定した場合、優先切替をおこない、再びもどした時、給湯設定温度が40℃に変わります。又、お湯はり終了時も同様です。



使用手順④

3. 給湯

- 湯量の調節は水道を使用される要領で給湯せんを調節してお使いください。
- デジタルモニターの給湯設定温度の表示が点滅した場合は、湯量を絞って使用してください。



〈ご注意〉

- 湯量を3.2ℓ/分以下に絞りますと、メインバーナの火が消えるようになっています。
- 給湯せんで湯量を調節しますと水の中の空気が分離して気泡となり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。

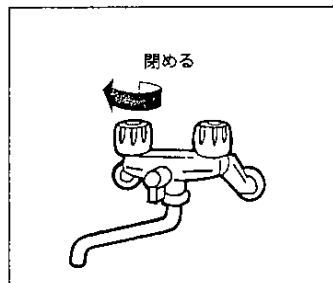
4. 消火

- 給湯せんを閉めます。
- お湯が止まり、メインバーナが消火し、メインコントローラ・風呂コントローラの給湯燃焼ランプが消えます。

〈ご注意〉

メインバーナ消火後、本体のファンモータは、約7分間まわっています。

- 次にお使いになるときは、給湯せんを開けるだけでお湯が出ます。



使用手順⑤

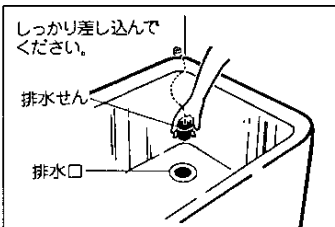
ふろのお湯はり・追だきの使い方

- 風呂コントローラの「お湯はりスイッチ」を押すだけで適温・適量のお湯を浴そうに張ることができます。

1. お湯はり

- ①浴そうの排水せんを、水漏れのないように排水口にしっかり差し込んでください。

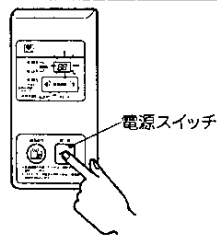
(浴そうに風呂蓋をしてください。)



- ②メインコントローラの電源スイッチを押します。メインコントローラ・風呂コントローラのデジタルモニターが点灯します。

〈ご注意〉

- 給湯せんが閉まっていることを確認してから電源を入れてください。

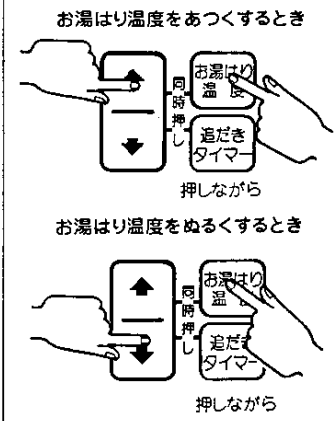


- ③風呂コントローラのお湯はり温度設定スイッチを押しながら給湯温度設定スイッチを押します。
- デジタルモニターの表示を希望するお湯はり温度にあわせてください。

調節範囲	約37℃～約47℃ 1℃きざみ
------	--------------------

- お湯はり温度をあつくするときは「↑」を押します。
- お湯はり温度をぬるくするときは「↓」を押します。

※お湯はり温度設定スイッチから手を離すと約3秒後に給湯設定温度の表示にもどります。



使用手順⑥

- ④メインコントローラ又は風呂コントローラのお湯はりスイッチを押します。
- メインコントローラ・風呂コントローラのお湯はりランプが点灯し、しばらくして給湯燃焼ランプが点灯します。
- お湯はり中は、デジタルモニターにお湯はり設定温度を表示します。
- 浴そうの循環口からお湯がでてきます。

〈ご注意〉

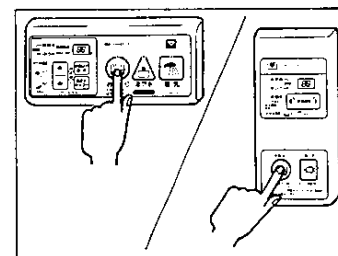
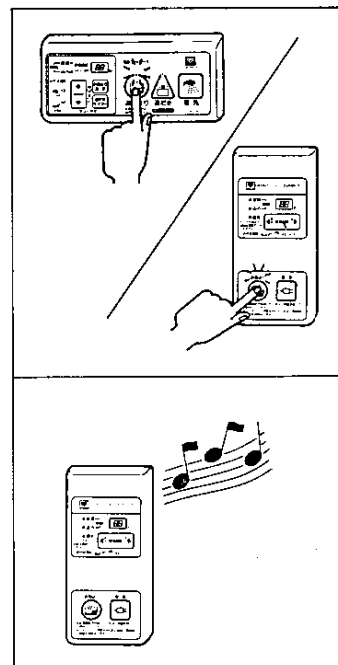
給湯せんでお湯を使用中にお湯はりスイッチを押しますと、お湯はり湯温が優先になり湯温が変化します。(給湯を60℃以上でお使いの場合は、お湯はりが終了すると給湯は40℃になります)

- ⑤設定した水位に達しますと、お湯はりが停止し、メインコントローラでお湯はり終了のメロディが鳴ります。
- メインコントローラ・風呂コントローラのお湯はりランプ・給湯燃焼ランプが消えます。

〈ご注意〉

- お湯はり中に給湯せんを使用した場合、お湯はりが停止しますと、お湯はり湯温から給湯湯温にもどり、湯温が変化しますのでご注意ください。
- お湯はりが停止しても本体のファンモータは約7分間まわっています。

- ⑥途中で停止する時は、メインコントローラ又は風呂コントローラのお湯はりスイッチを押してください。お湯はりが停止し、お湯はりランプ・給湯燃焼ランプが消えます。



使用手順⑦

2. 追だき

①湯当りの上端より10cm以上うえまで水（またはお湯）が満たされていることを確認してください。

※浴そうの排水せんは水漏れのないようにしっかり差し込んでください。

②風呂追だきタイマースイッチを押しながら給湯温度設定スイッチを押します。
 ・デジタルモニターの表示を希望するタイマー時間にあわせてください。

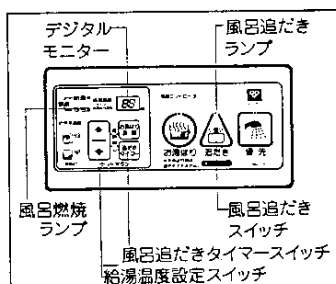
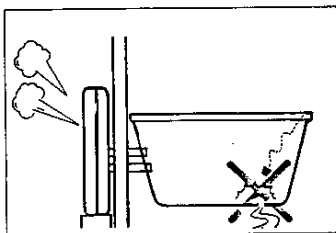
調節範囲

1分～88分
1分きざみ

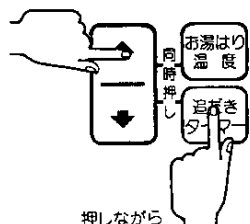
・タイマー時間を長くするときは「△」を押します。

・タイマー時間を短くするときは「▽」を押します。

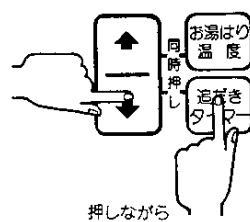
※風呂追だきタイマースイッチから手を離すと約3秒後に給湯設定温度の表示にもどります。



タイマー時間を長くするとき



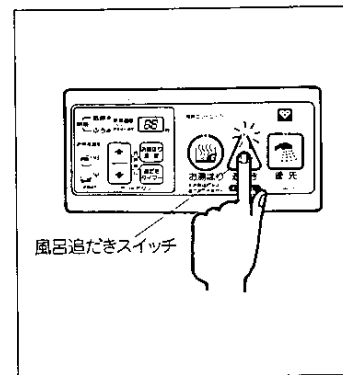
押しながら
タイマー時間を短くするとき



使用手順⑧

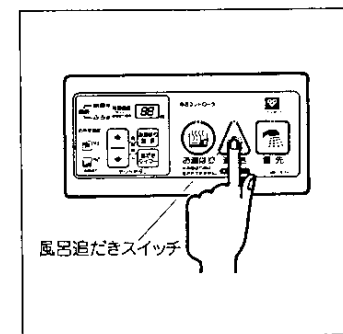
③風呂追だきスイッチを押します。

- ・風呂追だきランプが点灯するとともに約3秒間、風呂コントローラのデジタルモニターに風呂追だきタイマー設定時間を表示します。
- ・バーナに点火すると同時にメインコントローラ・風呂コントローラの風呂燃焼ランプが点灯します。
- ・追だき中に風呂追だきタイマースイッチを押すと、タイマー残り時間を表示し、離すと給湯設定温度の表示にもどります。



④風呂追だきタイマー設定時間がくると自動的に消火します。

- ・途中で停止する時は再度、風呂追だきスイッチを押してください。風呂コントローラの風呂追だきランプ・風呂燃焼ランプ・メインコントローラの風呂燃焼ランプが消えます。
- ・次にお使いになるときは、②でセットした時間になります。
- ・追だきが停止しても本体のファンモータは約7分間まわっています。



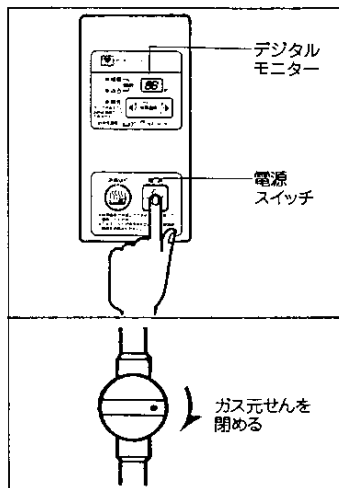
〈ご注意〉

- ・風呂を沸騰させますと、オーバーフローから蒸気がでたり、お湯がもれたりますので沸騰させないでください。
- ・風呂追だきスイッチを押した後、タイマー設定時間を変えても、次にお使いになるときは、変更する前の設定時間(②でセットした時間)にもどります。

使用手順⑨

長時間使用しない場合（お出かけや、おやすみの際など）

- ①メインコントローラの電源スイッチを押してください。
メインコントローラ・風呂コントローラのデジタルモニターが消えます。



- ②ガス元せんを開めてください。

〈ご注意〉
電源プラグをコンセントから抜かないでください。

停電後の使用方法

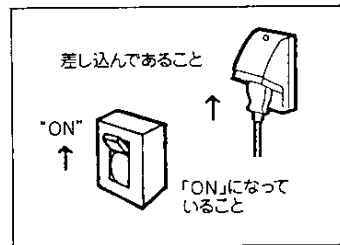
- 停電すると自動的にガスを止め、給湯・追だきとも運転停止します。ただし、水は止まりませんので、カランを開めてください。
 - 使用を一旦中止し、通電再開後、再操作をおこなってください。
- ※この器具は電気で作動しますので、停電中は使用できません。
- ※停電の場合や、電源プラグを抜いた（分電盤の専用スイッチを「OFF」にした）場合等では全て「切」の状態となり、給湯設定温度は40℃（標準設定温度）、お湯はり設定温度は42℃（標準設定温度）、風呂追だきタイマー設定時間は88分（初期設定時間）となります。

凍結による器具の破損を防ぐために

凍結のおそれのある場合のみ操作します。長期間不在される場合や寒さがきびしいとき、または寒冷地でご使用の場合には、凍結による器具の破損を防止するため必ずつぎの順序で凍結防止処置をしてください。

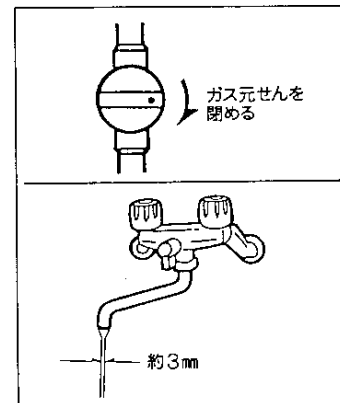
①凍結予防ヒータによる方法

- この器具には、凍結予防のため自動的に器具内を保温する電気ヒータを組みこんでいます。
- ①電源プラグがコンセントに差し込んであること（分電盤の専用スイッチが、「ON」になっていること）を確認してください。
- 電源プラグが抜けている（分電盤の専用スイッチが「OFF」になっている）とヒータが働きませんのでご注意ください。



②通水法（給湯せんから水を流す方法）

- この場合は器具本体だけでなく、給水・給湯配管、水せんの凍結も予防します。
- ①メインコントローラの電源スイッチを切ってください。
- ②ガス元せんを開めてください。
- ③お風呂場の給湯せんを開け、1分間に約200cc（牛乳びん1本ぐらい）の水を流しておいてください。



注）流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。

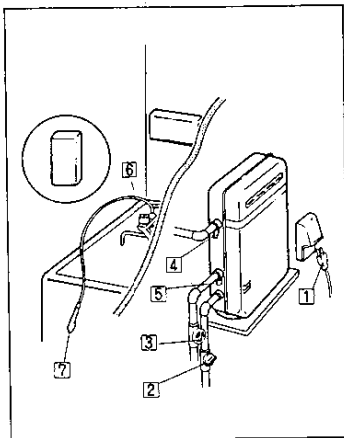
- ※電源プラグを抜かないでください。
- ※浴そうの水は抜いてください。

凍結による器具の破損を防ぐために②

③水抜きによる方法

次の順序でおこなってください。

- ①器具の電源プラグ①を抜き、ガス元せん②を閉める。
- ②給水元せん③をしっかり閉める。
- ③水抜きせん④・⑤を開ける。
- ④給湯せん⑥またはシャワーせん（シャワーを取り付けている場合）を全部開ける。
- ⑤シャワーヘッド⑦を床面まで下げる。
 - 給湯せん⑥およびシャワーヘッド⑦と、水抜きせん④・⑤から水が抜けるのを確認してください。
 - 次にお使いになるまで、このままにしておいてください。（水抜きせん④・⑤をはずしたままにしておいてください。）



水抜き後の使用方法

- ①水抜きせん④・⑤を元通りしっかり閉める。
- ②ガス元せんを止めた状態および器具の電源プラグを抜いた状態で給水元せん③を開け、給湯せん⑥およびシャワーヘッド⑦から水が出ることを確かめたのち、給湯せん⑥およびシャワーせんを閉める。
- ③9ページの「使用手順」に従ってお使いください。

凍結したときは

- 器具や配管が破損すると高額の修理費がかかる場合があります。（有償）
- 凍結したまま使いますと、器具に異常が生じる場合があります。
- 凍結がとけた後、水漏れがないを確認してからご使用ください。

日常の点検とお手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、電源プラグをコンセントから抜き（分電盤の専用スイッチを「OFF」にし）、器具が冷えてからおこなってください。
- 安全装置及びガス通路部分、電気回路は絶対に分解しないでください。

点 検

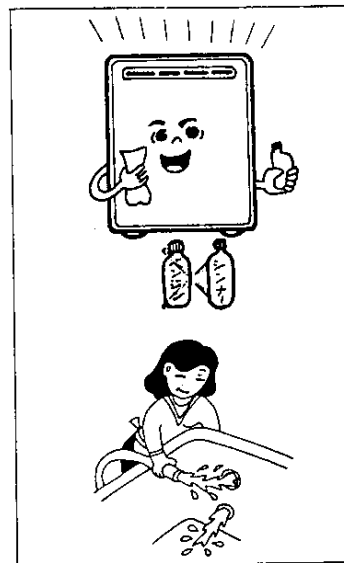
- 器具および配管より、水漏れ・ガス漏れはありませんか。（ガス漏れは、配管接続部に石けん水などをつけて調べてください。）
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。

お手入れ

- 器具の表面が汚れたときは、中性洗剤で軽く拭いた後、乾いた布で十分に水気をとっておいてください。シンナー・ベンジンなどでは拭かないでください。

注）コントローラの内部には電気部品がはいつていますので、絶対に水をかけないでください。

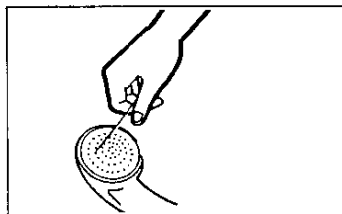
- ときどき給水接続口のストレーナ（水フィルター）を掃除してください。
- ときどき浴そう内の循環口から強く水を入れて熱交換器の内部を水洗いしてください。



日常の点検・お手入れ②

●シャワーヘッドのお手入れ

シャワーヘッドの噴出口がつまりますと湯量がへったり、バーナに火がつかなくなったりしますので、ときどき針などでお掃除して通水を良くしてご使用ください。

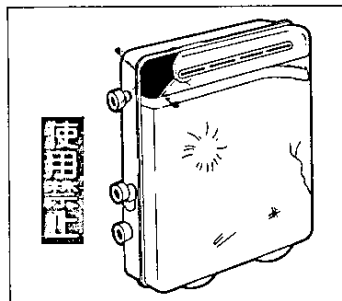


お 願 い

風呂釜が古くなると熱交換器やバーナにサビやスス、ほこり等がつかまります。また取り付け場所によりバーナに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起すことがあり、ときどき使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガスの元せんを開けてお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

点検の結果

- 故障または、破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置にこまるような場合にはお買い求めになった販売店またはもよりの大阪ガス支社までご連絡ください。



故障・異常の見分け方と処置方法

OKモニター 器具および使用方法に不具合があった場合は自動的に運転を停止し、デジタルモニターにOKモニターコードが点滅します。

OKモニター	使用状態	内 容	処 置 方 法
U1	給湯 お湯はり} 使用	点火ミス	ガス元せん確認後、電源スイッチを一旦切って再操作
U2	風呂使用	点火ミス	ガス元せん確認後、電源スイッチを一旦切って再操作
U3	お湯はり使用	お湯はりに水流スイッチが12.5秒間OFFのまま	電源スイッチを一旦切って再操作
U5	お湯はり使用	80分間水位スイッチがOFFのまま	浴そうの排水せんを確認後、電源スイッチを一旦切って再操作
U6	給湯使用	連続燃焼タイマーアップ(80分間)	給湯せんを閉じ、電源スイッチを一旦切って再操作
E1	給湯 お湯はり} 使用	失 火	電源スイッチを一旦切って再操作
E2	風呂使用	失 火	電源スイッチを一旦切って再操作
E3	給湯 お湯はり} 使用	給湯燃焼用ファンの回転を検知しない	電源スイッチを一旦切って再操作
E4	風呂使用	風呂燃焼用ファンの風圧を検知しない	電源スイッチを一旦切って再操作
E5	給湯 お湯はり} 使用	給湯サーミスタの断線 コネクターの接触不良	電源スイッチを一旦切って再操作
E8	給湯 風呂 お湯はり} 使用	伝送エラー	ケーブルの接続を確認し、電源スイッチを一旦切って再操作
E9	給湯 風呂 お湯はり} 使用	電子ユニット・コントローラの初期チェック不良	電源スイッチを一旦切って再操作

- (1) 電源スイッチを入れてもデジタルモニターが点灯しない場合。
 - ・停電の場合は通電するまで、お待ちください。
 - ・停電でない場合は、電源プラグを一旦抜き、再び差し込んだ後(分電盤のスイッチを一旦「OFF」にし、再び「ON」にした後)、再操作してください。
- (2) 再操作しても状況が変わらない(デジタルモニターに表示が出ない、又は再びOKモニターコードが点滅する)場合。
 - ・必ずガス元せん・給水元せんを開め、電源プラグを抜いて(分電盤のスイッチを「OFF」にして)から、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- (3) 給湯温度が点滅した場合は湯量を絞って使用してください。

故障・異常の見分け方と処置方法②

早見表

現象 原因	デジタルモニターが点灯しない	OKモニターコードが点滅する	給水元せんと お湯はり		お湯はりすると			お湯はりできず			メー ン コ ン ト ロ ー ラ で 終 了 メ ロ デ	処置および 処置方法
			お湯がでない	湯温が安定しない	お湯はりできない	お湯はり遅延がセットでき	お湯はり水位が低い	沸きあがり遅い	沸きあがり遅い	沸きあがり遅い		
ガス元せんの開き忘れ・不足	○		○									ガス元せんを全開にする
電源プラグが抜けている	○		○									電源プラグを差し込む
停電している	○		○									一旦使用を中止し通電をまつ
ガス圧が適切でない		○	○	○					○			点検を依頼する
安全装置が作動した	○	○										〃 〃
排気口づまり		○	○									〃 〃
水フィルターづまり				○	○	○						フィルターを掃除する
お湯はり水位スイッチ調節不良・故障							○	○	○			点検を依頼する
お湯はり電磁弁の故障							○	○				〃 〃
他の水せんの使用による水圧変動							○					使用上の注意 P7 を参照
給水元せんの開き忘れ・不足			○	○	○							給水元せんを全開にする
水圧が適切でない			○	○	○							点検を依頼する
水流スイッチの故障		○	○	○								〃 〃
水コントロール部の故障			○	○		○						〃 〃
ガス燃焼部の不良		○	○	○	○				○	○		〃 〃
風呂コントローラの故障		○				○			○			〃 〃
メインコントローラの故障		○				○				○		〃 〃
浴そう連絡水管の施工不良										○		〃 〃
本体基板の故障	○	○		○	○	○	○	○	○	○		〃 〃

ご不審な点や、処置できない場合は、お買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
なお、ご連絡いただくときは器具に貼付してある品番をお知らせください。

保管(長期間使用しない場合)

- ① 水道の元せんをしめてから器具内の水を全部抜いてください。
(19ページ水抜き法参照)
- ② ガスの元せんをしめて、電源を切り、電源プラグをAC100Vコンセントから抜いてください。
- ③ 浴そうの水も抜いてください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- ・22ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- ・確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1)品名…ガス風呂釜
- (2)品番…前板右下側に貼付してあります。
- (3)現象…(できるだけ詳しく)
- (4)道順…(できるだけ詳しく)

例

(N)31-057(U)

大阪ガス株式会社 02

転居される場合

- ・ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- ・この器具には保証書がついています。このガス風呂釜は保証書に記載のように器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

仕様

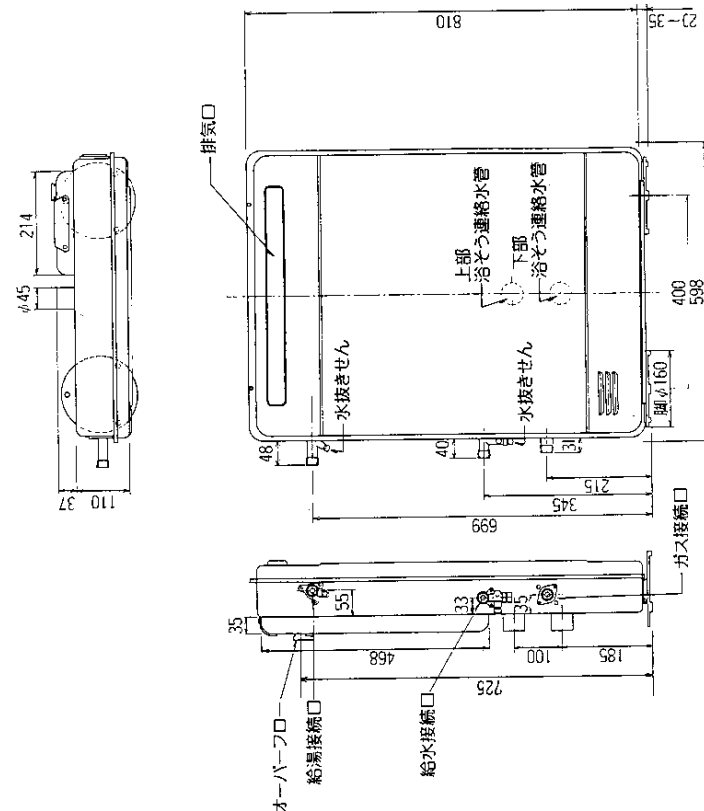
■仕様一覧表

器 種 名	31-057型(屋外設置型)		
形式の呼び	RFS-1615USA-A		
外形寸法(mm)	高さ830×幅598×奥行145		
重 量(kg)	29.5		
操作方式	コントロール操作		
点火方式	電気式連続スパーク点火		
標準能力	給 湯	16号～3.5号	
	追 だ き	10,000kcal/h	
給 湯 器	最低作動水圧	0.3kg/cm ²	
	最低作動水量	3.2ℓ/分	
	出 湯 温 度	約35℃～約75℃(16ステップ)	
お湯はり湯温調整範囲	約37℃～約47℃		
風呂消火方式	電子タイマー方式(最大88分)		
接 続	給 水	15A (PT1/2)	
	給 湯	15A (PT1/2)	
	ガ ス	20A (PT3/4)	
	電 気	AC100V・60Hz(電源コード本体より2m)	
	循環口取付口径	外径45mm・ピッチ100mm	
消費電力	84W(別途凍結予防ヒーター110W)		

■個別ガス消費量

使用ガス	1時間当りガス消費量		
	給湯器	風呂釜	同時使用時
都市ガス用6C(kcal/h)	30,100	10,000	39,600
都市ガス用13A(kcal/h)	30,100	10,000	39,600
都市ガス用6A(kcal/h)	30,100	10,000	39,600
L P ガス用(kg/h)	2.54	0.83	3.30

外形寸法図



MEMO

おねがい

ガスくまりのご請求、ガス料金を請求書、請求書をお送りする、大塚様
 まで、大阪ガス株式会社へお送りください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社 ガスビル サービスセンター	〒541 大阪市東区平野5-1	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2-9-41	☎大阪 08 (852) 0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3-6-35	☎大阪 06 (301) 1251
堺支社	〒590 堺市住吉橋町2-2-19	☎堺 0722(38) 1131
北摂支社	〒569 高槻市藤の里町39-6	☎高槻 0726(71) 0361
阪神支社	〒682 西宮市和上町4-11	☎西宮 0788(26) 3101
東阪支社	〒578 東大阪市瑞穂2-3-17	☎河内 0729(62) 1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町16-17	☎枚方 0720(41) 1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5-13-10	☎神戸 078(576) 5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都 075(231) 8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2-4-1	☎奈良 0742(44) 1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1-1-1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4-8	☎姫路 0792(85) 2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町箕津29-1	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6-57	☎豊岡 07962(3) 2221
湖南支社	〒525 草津市釜分町字荒畑680-1	☎草津 0775(62) 5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12-11	☎彦根 0749(22) 3131
(長浜営業所)	〒526 長浜市南島屋町3-4	☎長浜 0749(62) 7171

その他サービスショップ

大阪ガス株式会社